

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 087	提案機関名 神奈川県内水面漁業協同組合連合会
要望問題名 短期相模産アユの安定生産について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 河川放流用のアユ種苗は、相模湾産短期継代種苗の生産が行われています。この種苗は釣人や組合員の要望に沿ったもので、より天然に近く、アユ漁解禁時にも一定の成果が出ています。そのため、将来にわたって、遊泳力の優れた相模湾産アユの短期継代を望む声が多数であります。 そのため、相模湾産短期継代種苗アユ種苗のより安定的人工生産を実現願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) アユ資源管理研究		
対応の内容等	内水面試験場では平成25年3月には新規の親魚候補として相模湾産稚アユを導入し、平成26年には受精卵を内水面種苗生産施設に供給して事業規模でのF2種苗の生産を行い、平成27年春に河川へ放流しました。 その後も、平成28年春にはF3種苗を、平成29年春にはF2種苗を放流することができたことから、今後、引き続き継代数の少ない相模湾産系稚鮎の生産が、安定的にできるよう努めてまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			